

39. フィリピンキッズと日本語を楽しむ会

グループ名 市民グループ ええじゃん (Asian)
代表者氏名 栗林 克行

①活動の目的

宮島の牡蠣打ち場の打ち子の6割は日系フィリピン人定住者が占めるまでになった。その親子約50人が杉の浦地域周辺に定住し、うち、10名余の子供達は全て島内の小中一貫校宮島学園に在籍している。

皆、元気よく学校に通っていて、一見すれば問題なさそうに見えるが、実は家庭内では家族と一日中フィリピン語で話しており、日本語の本も新聞もなく、日本語や日本文化に触れる機会が絶対的に少ないため日本文化に馴染めず、基礎学力にも不安を抱えている。

我々とのマン・ツー・マンの日本語基礎コミュニケーションに加え、日常必要な漢字、日本の歴史、地理、文化や遊びを通じて日本語の世界になじませ、上級生は更に学校からの通知文や医療問診票など実際の教材も使ってレベルアップさせ、高校進学準備もさせたい。

②活動概要の報告

元中学校教員でフィリピン人と結婚し、子供を連れて帰国しておられた大場夫妻等から宮島に急増する日系フィリピン人、特に、その子弟の教育環境についての心配が国際交流協会とええじゃんに伝えられました。そこで、26年末から同協会が宮島日本語教室を立ち上げ、ええじゃんも「子供担当」で協力することになりました。しかし、親と子供の日本語レベルが違うので、子供達には別室で別のカリキュラムで教えることとなり、大場さんをメインとしながらも、ええじゃんのメンバーと広島大学や学生の参加も得て、日本語・日本文化を教えたり個別の宿題をみてあげたりの多彩な取組となり、正に「国際塾」の様相を呈してきました。

この度、貴事業団から頂いた助成金はこの「国際塾」の立ち上げに大いに役立ち、お蔭で成果を上げることが出来たと思います。心から感謝しています。具体的には、漢検を受験した者全てが合格し、それぞれに自信を得たこと、生徒のレベルに合った絵本や副教材を各自のために用意出来たことが今後の力になると思います。

子供達は得意な学科がある反面、不得意な学科もあり、バランスが欠けたり、礼儀作法が日本的でないため誤解を招きそうだったり、まだまだ安心出来ないところが多いですが、今後もレベル毎のオリジナル教材を手作りしながら自立を促したいと思います。

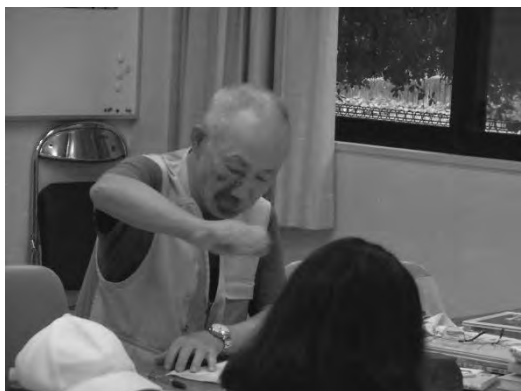
分野別利用教材一覧

分野	市販の教材で実施	手作り教材で実施	図書貸出・配布	個別指導
漢字	漢検過去問、カルタ、語源パズル・本	手作り連想ゲーム 偏・つくりカード	絵本 図鑑 問題集	宿題 不得手教科の指導
語彙力	ことわざカルタ	手作りクイズ		
地図	にはんちずカード、日本地図・世界地図パズル	板書		
歴史	歴史人物要点かるた	手作りクイズ		
文化・習慣	十二支、数詞	手作りクイズ・歌集		
郷土の知識	地名、駅名、年中行事	手作りクイズ		
社会	CLAIR 資料 給食の献立表	手作りクイズ 防災案内図・記号 病院診療科・問診票 宮島航路ピクトグラム		

③決算報告書

収入	大同生命厚生事業団助成金	110,000円
支出		
1. 交通費（広島・廿日市～杉の浦）		132,190円
①JR とフェリーの往復代 (400+360) 円×5 人×23 回 =87,400 円		
②タクシーと自家用車の渡船代 23,200 円+(2420×4 回) =32,880 円		
③大場交通費（宮島～廿日市・広島） (連絡と教材等購入のため) 11,910 円		
		6,000円
2. 通信費		12,000円
3. 会議費		25,000円
4. 飲物・菓子代		6,500円
5. コピー代		29,932円
6. 教材及び文具代		40,232円
7. 本代		
合 計		251,854円

宮島国際塾の様子



「おおば先生と日本語を楽しむ生徒」



「指令・日本の都道府県をパズルで覚えよ！」



「真面目な子、だーれだ！！」



「たまにはこうして遊びたい・・・」



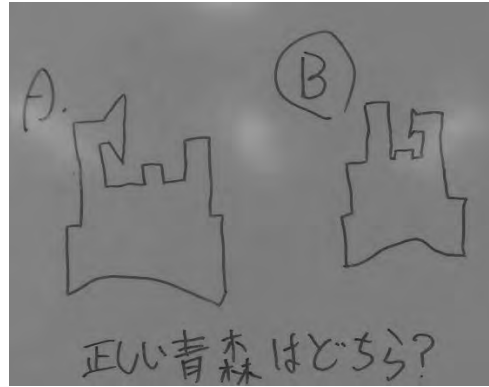
「みんなで献立表を見る」



「答えが合っているかチェック中・・・」



購入した教材



講師が板書した教材

12しを いってみよう！

•ね、うし、とら、う、たつ、み、うま、ひつじ、さる、とり、いぬ、い



パワーポイントで作った教材「十二支を言ってみよう！」